

## 「第 38 回土木史研究発表会」の開催と講演用論文および討議欄の募集について

2018.2.5

**【論文・討議欄の申込み締切り】 2018 年 4 月 9 日(月)17:00**

**【研究発表会の日程】 2018 年 6 月 16 日(土)～17 日(日)**

### 講演申込み・論文投稿フォーム

土木史研究委員会(委員長:知野泰明・日本大学工学部准教授)では、第 38 回土木史研究発表会の開催(2018 年 6 月 16～17 日、日本大学工学部(郡山キャンパス))にあたり、講演用論文を募集いたします。皆様のご投稿をお待ち申し上げます。

講演申込みと発表用論文の提出は同時の電子登録となっております。締切りは、**2018 年 4 月 9 日(月)17:00**です。

電子登録の方法の詳細は、当ホームページにてご案内申し上げます。また、ご研究の環境によって電子投稿が困難な場合には、事務局担当者まで遠慮なくお問い合わせ下さい。

土木史を専門に研究されている方に限らず、土木遺産の活用や歴史的環境の保全などに関する研究や実践にお取り組みになられている、あるいはチャレンジされようとしておられる皆さま、さらに土木史研究に取組み始めた学生の皆様も、この機会に是非ともご参加ください。また、過去の「土木史研究」に掲載された論文についての討議欄も従来通り設置していますので、あわせて電子投稿システムをご利用下さい。

本年度は、通常のセッションに加えて、下記の企画セッションを実施する予定です。下記のテーマに関連した話題をお持ちの方は、是非、企画セッションで投稿して下さい。なお、プログラム編成上、一般セッションでの発表となる場合があります。

#### ○戦後土木施設

(戦後に建設された土木施設の歴史・文化的価値評価や活用・維持管理に関する調査・研究・実践)

#### ○災害と土木史

(震災等により被災した土木遺産の復旧・復興や周辺地域の復興に関する調査・研究・実践)

#### ○明治150年

(今年150年を迎える明治期、近代化等を急速に進めてきた日本の経験に関する調査・研究)

#### ○土木遺産の活用

(土木遺産を活かした地域での様々な取り組み、等に関する調査・研究・実践)

#### ○建造物の歴史

(様々な建造物の設計や施工、材料やデザイン等について変遷や思想等を考察した調査・研究)

#### ○土木史と教育

(土木史を活かした学習(授業・市民講座)、教材、土木教育の歴史等に関する調査・研究・実践)

1. 主催:土木学会(担当:土木史研究委員会)
2. 期日:2018年6月16日(土)~17日(日)
3. 会場:日本大学 工学部(郡山キャンパス) 福島県郡山市田村町徳定字中河原1
4. 論文の書式:[土木学会論文集の書式](#)に準じる形になります。

ただし、**最終ページの英文タイトル、著者名、要旨は不要**です。

また、原稿受理日は締切日である**(2018.4.9 受付)**とご記載ください。

討議欄の書式は今までと変わりません。ご注意ください。

論文書式見本:[Word\(和文\)](#)、[Word\(英文\)](#)、[PDF\(和文\)](#)、[PDF\(英文\)](#)

[原稿作成上の注意\(こちら\)](#)と[PDFファイルの作成の手引き\(こちら\)](#)もご覧ください。

討議欄執筆要領:[PDF](#)

討議欄 A・書式見本:[Word](#)、[PDF](#)

討議欄 B・書式見本:[Word](#)、[PDF](#)

#### 5. 論文・討議欄の申し込み・投稿方法:

論文・討議欄投稿方法:下記の投稿フォームからお申込ください。

→[\[講演申込み・論文投稿フォーム\]](#)

締切期日:**2018年4月9日(月)17:00**

※論文は、『土木史研究(講演集)Vol.38』(2018年6月発行予定)に掲載されます。

※研究発表会は、研究成果を発表し、研究者間の交流を深める場であり、発表者は会場にて発表する義務があります。やむを得ない場合は、連名者が発表をして下さい。なお、発表辞退の場合は、翌年の『土木史研究 講演集』、「土木史フォーラム」、土木史研究委員会HP等でその旨を記載し、当該発表ならびに講演原稿はなかったことといたします。

論文掲載料:学会事務局から送付される請求書によりお支払い下さい。

論文は、4ページまで1万4,000円、6ページまで2万1,000円、8ページまで2万8,000円、10ページまで4万円、12ページまで5万4,000円(9ページ以上は累進制を採用しております)です。なお、**著者負担**でカラー印刷も受け付けます(1ページあたり5万円で実費清算します)。

討議欄は、1/2ページ当たり2,000円です(討議回答については費用をいたしません)。

#### 6. 参加費:

会員・非会員:5,000円、学生:2,000円

(事前の参加申込・支払いをお願いします。詳細は後日、HPでお知らせします。)

講演集:4,500円(当日会場にて申し受けます。なお、掲載論文の著者には講演論文集1冊が無料で配布されます。)

#### 『土木史研究(講演集)Vol.38』事前販売のお知らせ

発表会当日の議論をより活性化することを主たる目的として、発表会開催前にも、講演集を販売いたします。ご希望の方は、下記の申込フォームよりお申込ください。講演集の発送は6月以降となり、請求書も同時期にお送りいたします。

→[講演集申込フォーム]

7. 見学会・シンポジウム:

発表会に併せ、下記の企画を予定しております。

1) シンポジウム 2018年6月16日(土)午後

「安積疏水 ～土木遺産と日本遺産～」(仮)

詳細については、後日土木史研究委員会HPで公開します。

2) 見学会 2018年6月15日(金) 9:30～17:00 見学場所「安積疏水」

申込方法など詳細については、後日土木史研究委員会HPで公開します。

8. お問い合わせ:

土木学会土木史研究委員会発表小委員会 (担当職員: 林 淳二)

Tel: 03-3355-3559 / FAX: 03-5379-2769

Eメール: 38dobokushi-manage@jsce.or.jp (メール送信の際は、@を半角に直して下さい。)